

鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第10号
発行 2006年5月20日
発行者 中村 晃

ブルネイ訪問記

江 崎 昭 三

1999年（平成11年）山口・ブルネイ友好協会が発足。

私は会の監事となり第一回青少年交流事業として、昨年の8月19日より26日の日程で、協会会長、山縣氏と私は地元上郷小学校の大川・木原先生と平田・松原・木下・井上の小学生4名（5～6年生）8名は夏休みを利用して

戦時中には日本海軍が燃料補給基地としていたが、戦後1984年に独立し、国連に加盟し、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の一員である。又2000年にはアジア太平洋経済協力会議（APEC）が議長国としてブルネイで行われた。

ブルネイの国旗

ブルネイを親善交流訪問した。

ブルネイって
どこにあるの？
ブルネイって
どんな国？

南太平洋ボルネオ島（カリマンタン）の北西部、南シナ海に面した赤道より442km北にあり面積5,765km²（日本の三重県と同じ位）で面積の75%位がジャングルで、人口約28万人の国です。

平均気温は28℃（23～32℃）雨季は11月～1月である。

戦前はイギリスの保護領であったが植民地になることはなかった。



正式の国名はブルネイ・ダルサラームで立憲君主制である。

首都はパンダル・スリ・ブガワンで（人口約6万人）ブルネイムアラ・トゥトゥンブライト・トゥンプロンの4県があり、言葉はマレー

語・英語である。

民族構成はマレー系67%中国系16%ダヤク族他6%であり、国の宗教はイスラム教であるが信教の自由は認められている。

国王はハサナル・ボルキアである。国内に大小29のモスク（イスラム教の礼拝堂）があり、現国王の建てたモスク屋根は24金と言われている。

日本との時差は－1時間、通貨はブルネイドルでシンガポールドルも通用する。

治安状態は非常に良く。イスラム教の関係から酒の販売も認めない戒律の厳しい国で個人所得税はなく、医療費も大学も無料である。

ブルネイは石油・天然ガスの産油国であり、石油は日本40%韓国27%タイ13%シンガポール10%に輸出され、液化天然ガスは99%日本に輸出され、東京電力・東京ガス・大阪ガス等が使用している。

日本にとってブルネイは非常に大切な資源供給国である。

訪問の記録

1日目（19日：木）

7時31分小郡駅出発（現新山口）を出発。福岡空港で出国手続き（子供達は初めての海外旅行）をして福岡～クアラルンプル（マレーシア）～シンガポール～ブルネイに23時30分到着しブルネイホテル泊（福岡空港で日本酒をシンガポールでビールを購入）イスラムの国では飲酒はタブーでホテルの部屋ではOKで、入国時に要申請。

2日目（20日：金）

大川先生はベンギラン ハジ アジ
ハジ サルディンさん宅へ

木原先生はダヤンク ハジャ スリアさん宅へ

平田・松原君はハジ モハammad ハジ
モクティさん宅へ

木下・井上さんはハジ ザイナーハル ハジ
サファーさん宅へ

2泊の予定でホームステイに出発。山縣・江崎両名はホテルで打ち合わせ。

3日目（21日：土）

山縣・江崎両名は市内キャロン小学校・郊外のゴミ処理場・水産試験場・浄水場の視察見学。

先生、子供達のホームステイ先の家をそっと見学。

特にゴミ処理場ではゴミの分別もされず燃やしているのは、今後問題になるぞと思った。

市内の道路は良く整備されているが郊外では未舗装の所もあった。

4日目（22日：日）

全員ブルネイから19人乗プロペラ横でマレーシア領サラワク州ムルに行き、東京23区はどの面積を占める国立公園で、午前中世界最大規模の洞窟見学。

午後往復6キロのジャングル道を歩き、多くのラン・蝶などを見る事ができ世界最大規模の鍾乳洞を見学。

夕刻、蝙蝠の大群が鍾乳洞を出る様子を見る。ロイヤル・ムル・リゾートホテル泊。

5日目（23日：月）

午前ムルよりブルネイに移り、午後マングローブサファリと水上集落家庭を訪問し家庭生活状況を聞き見学。

一家に1艘ボートを持ち通勤・買い物に利用し、陸には自動車を置き生活している様子を知る事ができた。

6日目（24日：火）

午前中全員で市内キャロン小学校を訪問。

朝7時頃から生徒達は校庭の掃除をし、8時朝礼があり国旗掲揚・校歌斉唱。

訪問した上郷小学校生徒4名は全校生徒の前で堂々と自己紹介をし、上郷小学校校歌を披露。

感激し、拍手をもって迎えられた。又4名は2クラスに分かれ授業に参加、言葉は判らないがすぐ仲良くなり、楽しそうであった。

午後、在ブルネイ日本大使公邸を訪問、外国で見る日の丸と菊の紋章に感激、我々は日本人である事を実感した。

日本より持参の日本酒を手土産に、辻本特命全権大使や大使館職員と懇談後、昼食（日本の懐石料理が用意されていた）のもてなしを受け感激、我々は日本人である事を実感した。

その後、王室資料館を見学、歴史と豪華さに目を見張った。

夜ホームスティ先のホスト家族に感謝とお礼の夕食会をし、お別れをした。

7日目（25日：水）

朝ブルネイ空港でホームスティ先家族の見送りを受け、又感激。

シンガポール経由空港内でショッピング、後クアラルンプルに着き、KLタワーにある276mの回転レストランで夜景を眺めながら夕食。

8日目（26日：木）

0時55分夜行便でクアラルンプル空港出発、8時福岡空港到着。

全員疲れも見せず小郡に帰り、校長先生ほかお母さん方の出迎えを受け、無事に各家庭に。



★ 今回のブルネイ訪問を通じ、大人も子供達も出入国の度毎に出入国カードの記入の面倒さと、日々変わる為替相場の変動によるその国の通貨の換算が面倒であるが全員よい経験になったと思う。

★ ちなみに訪問期間中の通貨換算：ブルネイドル1ドルは日本円で約70円。

シンガポールドルは約0.0148円。マレーシア1リンギットは約33円であった。

環境バイオを軸に質にこだわり

ＱＯＬ総合産業の創成へ

海水化学工業株式会社社長 常 森 喬 紀

～ Quality of Life ～

【所在地】747-0833 山口県防府市大字浜方 535

【創業】昭和16年 【設立】昭和22年

【資本金】4,800万円

【事業内容】バイオテクノロジー商品の研究開発・生産・システム卸・直販、ゴルフ場経営、天然温泉郷、旅館経営ほか

【事業所】本社、東京オフィス、中関ゴルフ&コミュニティ倶楽部、玉泉湖温泉郷

昭和16年 鐘淵海水利用工業株式会社設立(旧鐘紡分社)

昭和22年 海水化学工業株式会社設立
塩業を主体に醤油・苦汁等製造

昭和35年 塩業廃業(瀬戸内塩田整理法による)

昭和39年 中関ゴルフ倶楽部・ゴルフ練習場開業

昭和41年 化学研究部設置

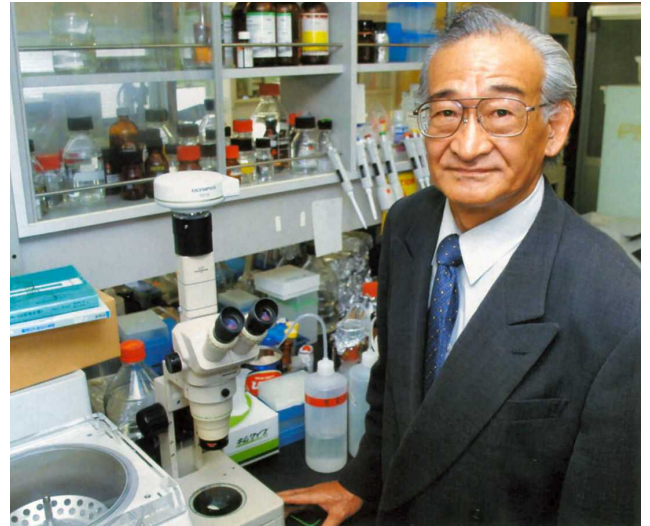
昭和45年 玉泉湖国際アーチェリーランド開業

昭和57年 玉泉湖温泉郷開業

昭和62年 バイオテクノロジー開発室設置

平成2年 (財)山口県産業技術開発機構 研究開発助成事業認定

平成6年 第Ⅱ創業期スタート宣言、組織改革の実施、国内外研究機関と研究交流開始

平成7年 通産省/中小企業創造活動促進法認定
(中国地区トップ認定)平成11年 常緑性コウライ芝「コプロス」発表
同 環境企業ネットワーク コプロスグリーンワールド(CGW)設立平成15年 「CGW式雨水貯留浄化循環システム」発表
同 常緑性コウライ芝「コプロス」米国特許取得平成16年 東京オフィス設置
同 ゴルフ事業部「Vプロジェクト」発足
同 土木学会地球環境貢献賞受賞(エコスクール研究会)平成17年 愛知万博日本政府館の屋上緑化。
日本館前大庭園(長久手会場)にコプロス採用

研究室での常森社長

次世代に向けてより美しく、心豊かな生活環境と強力なグローバルビジネス基盤を創出し、渡してゆきたい。

しかし、一方で住む場、交流の場、働く場等の生活環境は量と安易な利便性と無駄な箱物と予算合わせの波に曝され、心貧しくなっているのではないかという疑問を持ち続けてきた。

環境問題は、「人と人、自然と人との共生系」が原点ではないか—その為には、生活環境の心豊かさ、健全さ、そしてミティゲーションこそ重要なのではないか。その「質」的充実に寄与することが、コーポレートベンチャーというフリーハンダーの使命ではないか。

そのための橋頭堡事業(世界から見える象徴的旗印)として「緑」と「水」、その中でも更に暖地型芝とプレハブ型雨水貯留浄化循環システムに絞り込み開発を続けて来ました。

少ない経営原資ゼロからの出発で、有るといえば僅かな智恵と大きな勇気だけでした。

その壁を越えてきたのは、明確なターゲットを示した産官学民連携と、中創法、経営革新法、ミレニアムプロジェクトなどの、ブースターとしての、或いは精神的支えとしての各種支援策のお陰であったと思います。

また、「継続は力なり」とつくづく感じると共に、智慧はそれ自体増殖するものだという事も実感しています。

当社にしかないモノをシステム発想で横み上げ、それらの技術的、市場的隣接分野へ拡充し、かつ企業間連携により更に事業の巾を拡げてゆくのです。

すでに、独自システムによる松枯総合防除事業は確実な収益事業となり、樹木全般の総合管理へ事業拡大中です。

さらに、植物バイオでは、交配、変異から遺伝子組み換えまで、独自技術にこだわったフルラインの技術体系を保有するに到り、植物バイオ分野での可能性を拡大しています。

「芝」では、既に数百の独自品種・系統を保有しており、殊に、常緑性・緻密性・耐すり切れ性・鮮緑性に優れたスポーツ・多目的公園用「スクラム®」や、超矯性で刈込みを殆ど必要としない省管理芝「フラッツ®」は、予約が相次ぎ、増産に全力を上げています。

また「コプロス®」は、すでに多くの実績を上げ、最近では愛知万博の主公園及び政府事業館屋上緑化にも全面採用されました。

価格は高いのですが、**会社の歴史を示すようにゴルフ場と隣接した本社**だけの価値を認めていた

だけるところに、着実に普及してきています。芝では、米国企業からも世界的にもトップとの評価を戴き、コプロスはすでに米国、オーストラリアでも特許登録されています。

環境ストレス耐性植物と雨水貯留システムを軸とした砂漠・荒廃地緑化システムや、環境配慮型のエコスクール、新しい総合的健康スポーツシステム、コミュニティ・安全機能を強化した新概念の公園緑地、屋上緑化システムなど、市場セグメント別のトータルシステムへの取り組みを始めています。

雨水貯留浄化循環システムは、品質保証、コスト（VE・材工費）、工期の面からプレハブ型の

商品として開発し、連結または分散配置可能な2～20立米タイプがあります。200立米程度の現場施工型にも取り組んでいます。

エコスクールやコーポラティブ居住、病院等公共的施設、災害対策水源など、引き合いの範囲も拡大してきています。

現在さらに、雨水貯留浄化循環システムを活用した省エネルギーシステムや、植栽管理システムなど、新たな技術開発を産官学民連携により取り組み中です。

一方、環境共生「居住」への取り組みも加速しています。「住宅」機能の向上も必要ですが、閉鎖系のシェルター発想から脱却し、人と人、人と自然のインターフェイス商品の開発とシステム化が必要だと考えています。

これからは政策的にも「拠点分散型適正技術」による官民共同の社会インフラの構築が重要となつてきていると考えており、当社のマーケティング戦略の基本に置いていきます。

さらに、ブラックボックス化も含めた知財形成が企業の命運を決する時代でもあり、グローバルなライセンス事業もできる企業となることを目指して、すでに芝では海外との交渉も始まったところです。

一方、挑戦、次世代への責任といった企業文

化、理念を共有できる研究開発型企業が、個別市場セグメントに関し、各々の独自技術、商品をお互いに組み合わせてトータルシステムとし、総合的提案力、マーケティング力の向上を図ってゆくネットワークを順次形成してゆきたいと思っています。

すでに活動しているやまぐちエコスクール研究会や、当社商品システムを核とした販売力のあつた専門技術集団（CGWグループ）などを、さらに拡大してゆくと共に、新たなセグメントに対応したグループも立ち上げてゆきますので積極的ご参画を期待しております。



【平成18年度 支部活動報告】

◇既に実施した行事

年	月	日	活 動 内 容
18	2	3	支部幹事会
	3	10	支部幹事会・職場訪問
	3	10	九鐘会との懇親会

◇これからの予定

年	月	日	活 動 予 定
18	5	20	第12回ゴルフコンペ
	5	20	支部だより第10号発行
	7		(第55号鐘華ニュース)
	9		支部幹事会
	10		第8回ハイキング
	10		第13回ゴルフコンペ
	11		支部例会
			支部だより第11号発行

(特記事項)

◇3月10日に実施した職場訪問は、2年ぶりに九州カネライトを訪問。

- ・工場見学とカネライトを取り巻く状況について説明を受けた。原油高を背景に、苦戦が続いているようだが、九州は比較的頑張っているとの報告を受け、サポーターとして熱烈的なエールを送った。
- ・参加者は12名と今年も多く、特に遠方の山口から常森ご夫妻と縄田さんに参加いただいた。
- ・懇親会は、例によって羽犬塚駅前の料理屋で九鐘会メンバーも加わって賑やかに実施した。

◇ハイキングは活動が停滞気味ですが、10月頃に屋久島に「縄文杉」を見に行く計画を市木さんに立ててもらっています。乞うご期待！

◇今年度の例会はメンバーが増えたこともあり、山口方面でやろうということになりました。

◇人の動き

・ 廣政 誠さん

18/4 本社支部→九州・山口支部

新住所 〒747-0014 山口県防府市大字江泊 1163

TEL&FAX 0835-28-0002

新 mail: hiromasamkt@hi.enjoy.ne.jp

・ 石原晋太郎さん

18/4 九州山口支部→本社支部

カネカクラブの幹事で、九州・山口支部所属では活動し難いための移動。今後も、九州・山口支部の準会員として活躍してもらうことを条件に OK。

【 定例役員会 報告 】

◇ 平成18年1月24日(火)14時よりカネカ芦屋荘にて定例役員会が開催されました。

◇ 主な内容は下記の通りです。

- (1) 平成17年度会計報告並びに会計監査承認
- (2) 各支部の18年度の予算が審議・承認
(7月発行の鐘華ニュース参照)
- (3) 休会会員の慶弔祝いについては、送付しないことを再確認した。
- (4) 支部活動報告及び今後の活動計画
 - ① 高砂
各種活動を活発化させるため幹事会の開催回数を増加させる。
 - ② 本社
カネカクラブ展示会撤収時の費用を本部経費として明確化する。
 - ③ 九州
「支部だより」の発行費用として6千円を予算化する。

あとがき

- ・ 「ブルネイ訪問記」は改めて江崎さんの行動範囲の広さに驚かされます。聞いたことはありましたが、今回初めて地図で「ブルネイ」がどこにあるか知りました。
- ・ 常森さんは海水化学工業(株)の社長として多忙な毎日を送っていますが、3月の職場訪問にご夫妻で参加するなど、すっかり鐘華会行事の常連です。そこで、その仕事振りを紹介します。内容はちょっと難しいところもありますが、彼は、十数年間在籍したカネカを「自分の希望を200%かなえてくれた会社」と何時も言っています。嬉しい限りです。
- ・ コエンザイム入りの化粧品の社内販売が始まりました。(別添資料参照)「肌に潤いを与え、肌自身の基礎体力を効果的に高めます」という謳い文句に嘘ではないようです。是非一度お試しください。

ご注文は九州カネライト・成相さんまで 電話: 0942-54-1992